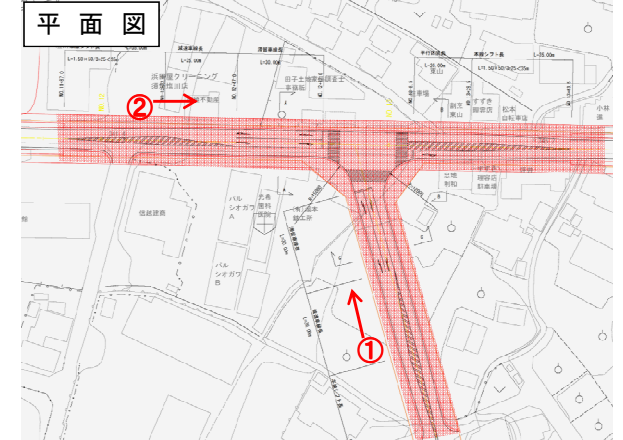


(様式2)新規評価シート

建設部 道路管理課

事業名		交通安全施設等整備事業		路河川名等	(国)406号					
事業毎の通番		17	市町村名	須坂市	箇所名(ふりがな)	塩川町(しおがわまち)				
事業概要	事業目的	当該区間は須坂市街地の玄関口になっており、朝晩の通勤時を中心に混雑が見られ、イライラ箇所にも指定されている。また、(国)403号と接続する幹線街路である臥竜線の整備が進められており、接続部である当該交差点には右折レーンが設置されておらず、右折車両による慢性的な交通渋滞が発生することが予想され、地元からも強い整備要望がある。また、日野小学校が近隣にあるが、歩道が狭く、危険な状態にあり、歩道の設置を含む、早期整備が必要となっている。								
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	第5編 施策の総合的展開 第4章 4-2 県民生活の安全確保 第5章 5-2 快適で暮らしやすいまちづくり		事業実施の根拠法令等	社会資本整備重点計画 交通安全施設等整備事業に関する法律					
	関連する事業、計画等	道路の見える化計画 須坂都市計画区域マスタープラン								
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	日野小学校 通学生 他 現況交通量 15,922台/日、現況自転車歩行者交通量 493台・人/12h								
	着手年度	平成27年度	事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)				
	完成年度(見込み)	平成30年度	費用対効果	—	国庫	その他	県債	一般財源		
	全体事業内容(主な工種)	交差点改良工 全体延長 L=175.0m W=6.5(17.0)m			300,000	180,000		108,000	12,000	
	年度事業内容(主な工種)	路線測量 1式 交差点詳細設計 1式			20,000	12,000		7,200	800	
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	利用者の安全確保、特に通学児童の交通事故の減少が期待される。							
		間接的効果(定量的・定性的)	通行車両の交通事故抑制 渋滞解消 緊急輸送路の整備							
評価の視点	必要性	○現況自動車交通量：現況計画交通量15,922台/日 ○現況自転車歩行者交通量：現況交通量493台・人/12h						評価	A	
	重要性	○関連計画、重点施策との整合： 2つ以上整合(道路の見える化計画イライラ箇所(横町中央交差点)、須坂都市計画区域マスタープラン) ○緊急輸送道路の路線指定：県緊急輸送路(2次)に指定						評価	A	
	効率性	○事業期間：4年間(H27～H30)						評価	B	
	緊急性	○近年の交通事故件数：人or自転車×自動車事故発生6件、H23 4件、H24 2件 ○通学路対策：緊急合同点検を踏まえた対策箇所(須坂市立日野小学校) ○現況の歩道幅員：2.0m未満(W=1.5m)						評価	B	
	計画熟度	○事業情報の共有：関係者中心に周知(H24.8に地元説明会実施) ○地域の取り組み：協力的ある(説明会において、特に異論は出ていない) ○地域の合意形成：説明会において、整備手法について合意形成が図られている ○住民との協働：維持管理や環境美化に地域住民が直接参加している(道路愛護会、塩川長生会、むつみ会)						評価	B	
	部意見	交通量も多く、渋滞による事故も多く発生している交差点であり、安全な交通空間の確保のため、早期の改良が必要である。		行政改革課意見	接続する幹線道路の整備が進められており、接続部の右折レーンを設置して交通渋滞の緩和を図ることから、必要性、重要性が認められる。		評価結果	○	総合評価	A

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)



事業概要説明図表

【整備の必要性がわかる状況写真等】



事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	(国)406号は、長野市から菅平を結ぶ主要幹線道路であり、本事業区間は(国)403号と接続する幹線街路である臥竜線との交差点部分である。	
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	(国)403号と接続する幹線街路である臥竜線が開通予定であるが、接続部である当該交差点には右折レーンが設置されておらず、右折車両による慢性的な交通渋滞が発生することが予想され、地元からも強い要望が挙がっている。	
③事業説明等の経緯	本事業区間は、平成24年度に沿線住民への事業説明を実施しており、要望が挙げられている。このため本事業区間も早期の事業化が求められている。	
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	須坂市で行われている幹線道路網の見直しの検討にあたり、既存のバイパス(都市計画道路高甫線)計画の廃止など、将来交通需要を踏まえ、幹線道路として当路線の重要性が高まっている。	
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	地域住民の意向に沿った工法を検討している。	
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化が図られ、付近の商業施設等の活性化も期待される。	
⑦その他	コストの縮減が期待できる案を採用している。	
	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 39' 17" 東経:E 138° 17' 40"